

<様式4号>

平成23年5月7日

事業の評価書

池田市長 倉田 薫様

協議会名 石橋南地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 徳田 宗義



記

事業の名称	防犯カメラ管理事業
事業実施前の状況	校区内5基の設置があり、カメラの維持、管理をし地域の防犯の抑止力と子どもの安全、安全の確保に努める。
事業実施後の状況	設置後初めて、防犯カメラの開示要請があり、池田警察署(届書)に協力、防犯カメラ運営管理委員と行政の立会で実施をする。(延べ4時間という対応)
事業の効果	開示要請は無いほうがよいが、目的が達成でき、設置の稼動に意味深いものがあつた。運営管理委員の心労もあつたが設置規定があり今後の教訓となつた
今後の課題等	防犯カメラ装置の操作方法を訓練し、短時間で開示できるよう運営管理委員で模索研究する。

<様式4号>

平成23年5月7日

事業の評価書

池田市長 倉田 薫様

協議会名 石橋南地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 徳田 宗義



記

事業の名称	避難場所等案内掲示板設置事業
事業実施前の状況	掲示板設置については無く、危機管理対策上最も必要不可欠な設置であった。
事業実施後の状況	地域内の6個所の公園に設置をする。池田市の先駆け提案事業設置となる。 重ねて差し込み標語をいれる仕組みを考案する。 例 「美しくする条例」のタイトルをPR
事業の効果	当会と行政(危機管理課)とで再三協議を重ねた結果、制作上功績が絶大であった。
今後の課題等	避難場所案内板の作成に今後の模範(見本)となる図案(知的財産、著作権ともいえる)を確保し今後模索する。 今後、公園危機管理要素と維持管理の検討

<様式4号>

平成23年5月7日

事業の評価書

池田市長 倉田 薫様

協議会名 石橋南地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 徳田 宗義



記

事業の名称	コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	継続事業として年間通じて発行する。 池田市報の配布に便乗して市報に折込発行する。
事業実施後の状況	住民全戸に敏速に配布ができ達成に満足です。 事業の活動内容等情報を公開し、理解と支援を得ることになった。
事業の効果	発行を重ねることで、地域住民からカラー刷りをより多くし、写真、カット等で紙面を飾る工夫がよかった。特に写真(人物等)の取材には配慮したこと。
今後の課題等	今後もカラー刷りで地域住民のみなさんが楽しみ、喜んで見る、読む機関紙の発行に努める。一方継続的に配布区域を検証する必要もある。

<様式4号>

平成23年5月7日

事業の評価書

池田市長 倉田 薫様

協議会名 石橋南地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 徳田 宗義

記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	当会の活動内容等を広く住民に知ってもらうための周知板が必要不可欠であるが以前は設置がない。
事業実施後の状況	地域内と他地域の境に2箇所設置をする。 地域分権の情報開示にも役立っている。
事業の効果	地域住民の関心度がたかまる。まちの美化にも一役を担う。
今後の課題等	地域掲示板の活用に関し今後内容、時期等を模索する中で継続事業としての体制を巻き込むことを努力する。

< 様式4号 >

平成23年5月7日

事業の評価書

池田市長 倉田 薫様

協議会名 石橋南地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 徳田 宗義



記

事業の名称	石橋周辺地下道美化事業
事業実施前の状況	落書きやポスター等による美観が損なわれていた市道、地下道路ガード下付近の美化を行なう。通行者の快適性とまちの活性化を促進する
事業実施後の状況	落書きやポスター等は改善された。まだ単車類、自転車等の放置がある。水路の壁面塗装によって快適性が見受けられる状況です。
事業の効果	一定の環境効果は図られた。水路の壁面のデザイン(落語の猪狩の猪)が興味深く面白い。
事業の課題等	今後は自転車や単車類の不法駐輪対策を地域住民の意識改革し、行政関係機関等と協議して美しいまちにする。

<様式4号>

平成23年5月7日

事業の評価書

池田市長 倉田 薫様

協議会名 石橋南地域コミュニティ推進協議会

代表者名 会長 徳田 宗義



記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	旧西国街道の阪急電車踏み切りを渡り東行く一方通行で道路幅も狭く、運転者に安全意識の向上を図る
事業実施後の状況	道路にグリーンベルトの歩行帯を設けることによって歩行者、運転者の安全の意識が向上した。道路が美しく明るい生活環境になった。
事業の効果	特に自動車運転手等に安全の意識を持たせる。また、歩行者にも安全、安心の相乗効果も期待ができる。
事業の課題等	今後のグリーンベルトの維持管理を習得しなければならぬ。まちの環境が良くなったことを実感し、さらに道路安全対策事業を継続事業とする。